

<循環器センター内科>

一般（教育）目標

循環器疾患を幅広く経験することにより、同領域の疾患および病態を理解する
虚血性心疾患、うっ血性心不全、弁膜症、不整脈、大動脈疾患および末梢血管病などの疾
患のマネジメントを上級医と適宜相談しながら行うことができる

(具体的) 行動目標

- (1) 基本姿勢
 - ・病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める
- (2) 診察法、検査、手技
 - ・循環器疾患の病態を評価するための検査計画をたてることができる
- (3) 症状、病態への対応
 - ・行った検査の評価ができる。
 - ・狭心症発作・急性心筋梗塞発作・心不全発作・不整脈発作・急性大動脈解離・大動
脈破裂の徵候を捉え、上級医の指示のもと、適切な初期治療を行うことができる

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもと入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は 10－15 人程度とする
- (2) 週 5 回の CCU カンファレンス、週 1 回のハートチームカンファレンス、週 2 回の病
棟カンファレンス、回診と週 3 回の CAG カンファレンスに参加し、症例提示を行う
- (3) 上級医の指導のもと、心エコー検査・CV 挿入・動脈ライン確保・スワン・ガントツカ
ーテル挿入・心肺蘇生措置などを実施する。理解度や手技の習熟度の高い者には
CAG を行わせる事もある

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) CAG を行った症例の提示を行う。病歴、身体所見、検査結果から CAG の適応を明確
にした症例提示を行う
- (2) 虚血性心疾患、心不全、不整脈、大動脈疾患などの循環器領域の common disease を
対象としたレクチャーに出席する
- (3) 興味深い症例を受け持った場合、木曜カンファレンスをはじめとする各種院外カンフ
アレンス、研究会や日本循環器学会地方会などで、上級医の指導のもと発表を行う
(最優秀賞を年に複数受賞している)

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前 1	CCU カンフ アレンス カテーテルカ ンファレンス	CCU カンフ アレンス 病棟カンファ レンス 回診	CCU カンフ アレンス カテーテルカ ンファレンス	CCU カンフ アレンス 病棟カンファ レンス 回診	CCU カンフ アレンス カテーテルカ ンファレンス
午前 2	アブレーショ ン カテーテル 病棟業務	カテーテル SHD 治療 病棟業務	カテーテル 病棟業務	アブレーショ ン カテーテル 循環器 CT 病棟業務	カテーテル SHD 治療 病棟業務
午後	心エコー 病棟業務	ペースメーカ ー外来 心エコー 循環器 CT 病棟業務	トレッドミル 心エコー 病棟業務	心エコー 循環器 MRI ペースメーカ ー外来 病棟業務	病棟業務

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医 ⇄ 指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力をすること